

(以下は、2025年3月28日にシンガポールから発表されたリリースの抄訳版です)

JLL、サービスアパートメント「オークウッドスイーツ横浜」の売却を支援

日本のサービスアパートメントに対する高い投資需要を示す

東京 2025年3月28日 – 総合不動産サービス大手 JLL (本社: 米国シカゴ、CEO & プレジデント: クリスチャン・ウルブリック、NYSE: JLL) のホテルズ&ホスピタリティグループは、シンガポールを拠点とする世界的な不動産開発・投資・不動産管理会社であるメイプルツリー・インベストメンツ (Mapletree Investments Pte Ltd) に対して、サービスアパートメント「オークウッドスイーツ横浜」の売却取引に関する支援を行ったことをお知らせいたします。

2020年11月にオープンした「オークウッドスイーツ横浜」は、パノラマビューの眺望と簡易キッチンを備えた175室の現代的なアパートメントで構成されています。横浜中心部の馬車道駅に隣接し、横浜みなとみらい地区の主要オフィスビルやベイエリアの観光スポットの近くに位置しています。

JLL の分析では、日本のサービスアパートメント市場は平均客室面積が小さく、2名まで宿泊が可能な施設が多いことから、他の市場と比べてまだ成長過程にあります。近年日本でもアスコット、MIMARU、セクションLなどのサービスアパートメント運営会社とその需給バランスの偏りに商機を見出し、全国に拠点を拡大しています。また、Booking.com がアジア 11 カ国・地域の複数世代の家族旅行者を対象に行った調査によると、最も人気の旅行先は東京でした。

JLL ホテルズ&ホスピタリティグループ インベストメントセールス シニアヴァイスプレジデント 上西久夫は次のように述べています。「『オークウッドスイーツ横浜』のような優良なサービスアパートメントホテルは、長期滞在需要を満たし、繁忙期に高い ADR (客室平均単価) を得られることから投資家が高い関心を示しています。記録的な訪日外国人旅行者数の増加は、訪日客にとって魅力的な特徴を備えたホテルにはまたとない好機です。」

JLL について

JLL (ニューヨーク証券取引所: JLL) は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。オフィス、リテール、インダストリアル、ホテル、レジデンシャルなど様々な不動産の賃貸借、売買、投資、建設、管理などのサービスを提供しています。

フォーチュン 500® に選出されている JLL は、世界 80 カ国で展開、従業員約 112,000 名を擁し、2024 年の売上高は 234 億米ドルです。企業目標 (Purpose) 「Shape the future of real estate for a better world (不動産の未来を拓き、より良い世界へ)」のもと、お客様、従業員、地域社会、そして世界を「明るい未来へ」導くことが JLL の使命です。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。 [jll.com](https://www.jll.com)

お問い合わせ: FGS グローバル(JLL 広報代理)

E メール: JLL-TYO@fgsglobal.com 長谷田 (080 9898 5591) 多田 (070 3857 8698)